

第54回 ふじのくに防災学講座

日時：平成24年12月15日（土）10時30分～12時00分

場所：静岡県地震防災センター

テーマ：「“コンピュータの眼”を防災研究へ応用
～高精度画像計測からのアプローチ～」

講師：橋本 岳（はしもと たけし）

静岡大学工学部電気電子工学科准教授

（概要）

人間の眼のように、コンピュータで対象物を高精度に計測する技術を、防災分野へ応用する研究に取り組んでいます。例えば、土砂災害の直前に生じる擁壁ブロック・樹木・岩等の微小変化を捉えることができれば、土石流発生前に警報を発することができますし、建物の詳細な位置・サイズが計測できていれば復旧のための貴重なデータにもなります。

この研究は、特に遠距離においても精密な計測ができるという特長があり、様々な分野に応用できます。過去に、地球温暖化による南米世界遺産の氷河の動きを高精度に計測した例も紹介します。ロボットや産業応用のイメージが強い画像計測ですが、画像計測の基礎もまじえて分かりやすく説明します。

